

学術事業報告

学発番号: 13-046

研修会名: 脳神経講習会〈事前登録制〉

日時: 平成25年12月7日(土)13:00~16:30

場所: 独立法人 国立病院機構 京都医療センター

主題①: 神経伝導検査と誘発電位

講師①: 村瀬 永子(独立法人 国立病院機構 京都医療センター 神経内科医長)

主題②: 神経伝導検査と誘発電位 ハンズオン

講師②: 村瀬 永子 小原 伸之 出村 豊

参加数: 21名

報告者:

以下、講演内容など

講演ではまず電気生理検査の原理について説明して頂きました。また神経伝導検査では1.背景を知る、2.刺激中の動きを見る、3.神経の予後判定をする、4.波形の減衰をみる、5.長い距離の神経の検査はすべきか、という5つの基本指針に沿って病態の考えかたや検査の進め方、注意点をわかりやすく説明して頂きました。各論では単神経炎、多発神経炎、多発単神経炎の違いについて、また糖尿病性神経障害の神経伝導検査による重症度診断について詳しく説明して頂きました。実技講習では上肢NCSコース、下肢NCSコース、誘発コース、アドバンスコースの4つのグループに分かれて行われました。上肢、下肢、誘発コースでは実際検査をやり始めた方も多く見られ、電極のつけ方から刺激部位などの実技講習が行われました。アドバンスコースでは普段NCSを検査されている方でもあまりしたことがないSSRや反復刺激、また顔面神経の検査について実技講習が行われました。講演や実技講習で電気生理検査をするにあたっての考え方や注意点を学ぶことができ、今後の検査に役立てていきたいと思っております。